筆の里工房６月の休館日
5日・12日・19日・26日・7月3日

筆の里工房
〒731-4293　広島県安芸郡熊野町3115-1
TEL(082)855-3010　FAX(082)855-3011
開館時間9:30～17:00（入館は16:30まで）
URL:http://www.fude.or.jp/

仮名と写経 植村和堂展

写経教室で熊野と関わりの深い植村和堂先生の生誕100周年を記念して、約60点のかなと写経作品を展示します。

期　間　～6月11日(日)

筆の里と棟方志功

棟方志功〈1903（明治36年）～1975（昭和50年）〉は、日本のみならず国際的に認められた板画家です。志功は自分の芸術を具現化し得る道具にこだわり、熊野の筆匠に好みの筆を作ってもらうため、筆の絵を描き、毛質や大きさなどの特徴を指示した筆の注文書簡を送っています。

今回、初公開の広島電鉄コレクションの版画作品を通して志功と筆の里との交遊を紹介します。

期　間　6月14日(水)～7月12日(水)

「円肩妃の柵」棟方志功
1963年 広島電鉄㈱蔵

■シンポジウム
「地域文化と地場産業～地域ブランドの発信について」

とき　6月14日(水)
午前10時半～(要入館料)

・コーディネーター
岡馬　重充（中国新聞社論説委員）

・パネラー
迫田　敏高（日本銀行広島支店長）
丹羽　宏（熊野筆事業協同組合専務理事）
大田　哲哉（広島電鉄㈱代表取締役社長／筆の里工房館長）

筆の里ありがとうの絵てがみ記念展

作品公募「筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞」の第10回を記念して、過去9回にわたる公募の中で「ありがとう大賞」に選ばれた作品と、子ども大賞、特別賞など厳選した作品約30点を紹介します。

期　間　6月14日(水)～7月12日(水)

入館料
大　人　500円
小中高生　250円
幼児　無料
※PAL会員は無料です

第10回 筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞作品募集

●テーマ　「ありがとう」

●募集作品　絵と文字が入った絵てがみ作品

●募集期間　～7月7日(金)
〔当日消印有効〕

第９回 佳作
山城恵美子(貴船)

●出品料　無料

●応募資格　制限なし

●募集規定
・筆を使用した絵てがみ作品
・一人何作品でも応募可。ただし、応募票又は郵便番号、住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を記入した紙を1作品ごとに作品裏面にクリップでとめてください。
・作品は本人の自作で未発表のもの
・応募は郵送もしくは直接持参してください。
・紙の大きさは70㎝×35㎝以内（縦横自由・色・紙質は問いません）
・80円切手を同封してください。（結果通知用）
・洗って落ちる墨や水溶性のインク等は使用しないこと。
・学校等団体での応募希望の場合はお問い合わせください。

●応募先　筆の里工房内
「ありがとうの絵てがみ大賞」係

●備考
・応募作品の著作権は主催者に帰属します。
・作品返却は別途事務手数料（入選以上2千円、選外・葉書部門1千円）をいただきます。
・入賞作品は企画展などで展示する場合があります。